



指揮者プロフィール



真邊 省至 (Shoji Manabe)

鹿児島大学教育学部卒業。在学中に東京芸術大学に委託入学。オーボエを延原武春、梅原美男、似鳥健彦、原正次の各氏に師事。吹奏楽指導を山本武雄氏に師事。鹿児島交響楽団設立と同時にオーボエ奏者として入団。同時に指揮者として定期公演等を指揮。1984年、鹿児島市春の新人賞を受賞。1990年、鹿児島県育英財団海外留学生として、ベルリンに留学。オーボエをベルリンフィルハーモニー管弦楽団のA.ヴィットマン氏に師事。帰国後、鹿児島交響楽団を始め、MBC ユースオーケストラ、鹿児島ウインドアンサンブル、鹿児島チェンバーオーケストラの指揮者としての活動も行う。1993年、鹿児島県芸術文化奨励賞を受賞。鹿児島県民第九演奏会や「メサイア」全曲演奏会、安永徹氏や市野あゆみ氏をはじめ、数多くの演奏家との共演を行う。また、鹿児島オペラ協会公演の「カルメン」「こうもり」「フィガロの結婚」「ミスターシンデレラ」「蝶々夫人」等の副指揮を務める。

～演奏会にあたって～

鹿児島交響楽団は昭和48年3月に設立されて以来、様々な活動を通じて県下各地で芸術鑑賞事業や訪問演奏、青少年のための音楽教室を開催されています。2003年には、創立30周年記念事業として、鹿児島市と姉妹都市のナポリ市（イタリア）にあるサン・カルロ劇場にて「ナポリ第九公演」を行い大成功を納められました。令和5年中においては、鹿児島市の宝山ホールにて11月に「第99回定期演奏会」、12月には「第36回かごしま県民第九演奏会」が予定されています。

その鹿児島交響楽団が指宿市初の公演として今回お越しいただくこととなりました。新設された指宿市民会館にて鹿児島交響楽団の演奏を是非お楽しみください。

